

# しょう ひと せいかつ しさく かん 障 がいのある人の生活や施策に関する アンケート

みなさまには、日ごろから、太宰府市の障 がい者施策、障 がい福祉行政にご理解、ご協 力をいただき、ありがとうございます。

現在、太宰府市では、障 がいの有無にかかわらず、お互いに人権を尊重し、支え合い、助け合っ、誰もが住み慣れたところで安心して暮らせるような地域社会をめざして、「第4次太宰府市障 がい者プラン」の策定をすすめています。

つきましては、市内にお住まいの障 がいのある方から無作為に選ばせていただいた約1,500名を対象に、日ごろの生活の様子や障 がい者施策、障 がい福祉サービスなどに関するご意見をお聴きし、計画づくりに反映していきたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐 縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、みなさまのご意見をお聴かせくださいますようお願い申し上げます。

平成28年7月

太宰府市長 芦刈 茂

## かいとう しかた ねが <回答の仕方とお願い>

- このアンケートは、お名前を記入する必要はありません。
- ご回答はできるだけ宛名のご本人が記入してください。ただし、ご本人が記入できない場合には、ご家族や介助者の方が記入してください。
- ご回答は特に指定のない限り、あてはまる番号に○を付けてください。また、記入欄には、具体的にその内容を記入してください。
- 記入していただきましたアンケートは、平成28年8月8日(月)までに、同封の封筒に入れて、切手を貼らずにポストに入れてください。

## 【アンケートに関するお問い合わせ先】

太宰府市 市民福祉部 福祉課 障 がい福祉係

電話 :092-921-2121(内線364)

ファックス:092-925-0294

あなた(この郵便の宛名のご本人)の性別・年齢・ご家族などについて

■ この調査票をご記入になる人はどなたですか。(1つだけ○)

1. この郵便の宛名のご本人
2. ご本人の意見を家族や介助者などが代理で記入
3. ご本人の意見を確認することがむずかしいので、家族や介助者などのお考えで記入
4. その他 ( )

問1. あなたの戸籍上の性別はどちらですか。(1つだけ○)

1. 男性
2. 女性

問2. あなたの年齢は、満何歳ですか。

( ) 歳

問3. あなたが現在お住まいの校区はどこですか。(1つだけ○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 太宰府小校区  | 4. 水城小校区   | 7. 国分小校区   |
| 2. 太宰府東小校区 | 5. 水城西小校区  | 8. わからない   |
| 3. 太宰府南小校区 | 6. 太宰府西小校区 | 9. その他 ( ) |

問4. あなたの住まい(暮らしているところ、生活の場)はどこですか。(1つだけ○)

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 自宅(持ち家、賃貸、社宅など)  | 5. 公営住宅    |
| 2. 障がいのある人や高齢者の福祉施設 | 6. わからない   |
| 3. グループホーム          | 7. その他 ( ) |
| 4. 病院(入院中)          |            |

問5. あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |           |               |             |
|-----------|---------------|-------------|
| 1. ひとり暮らし | 5. 子ども・孫      | 9. わからない    |
| 2. 親・祖父母  | 6. その他の親族 ( ) | 10. その他 ( ) |
| 3. 配偶者    | 7. 友人・知人      |             |
| 4. 兄弟姉妹   | 8. 施設や病院の職員   |             |



## あなたの現在の生活について

とい 問9. あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事しごとをしている
2. 学校がっこうや保育所ほいくしょ・幼稚園ようちえんなどかよに通かよっている
3. 家いえで家事かじなどかよをしている
4. 家いえでテレビをみたり、ゲームやパソコンをかよしている
5. 病院びょういんにかよ通かよっている
6. 福祉施設ふくししせつに入にゅうしよ所しよしている・入にゅういん院いんして治療ちりょうを受けてういる
7. 福祉サービス事業所ふくしじぎょうしよなどかよに通かよっている
8. デイケアやデイサービスかよにかよ通かよっている
9. 障しょうがいのある人たちの活動ひつや集まりかつどうに参加あつしている
10. 趣味しゅみをかよしている
11. 何もなにしてかよいない
12. わからない
13. その他た ( )

とい 問10. 現在の生活で困こまっていることふあんや不安ふあんなことはどのようなことですか。(主なもの3つに○)

1. 身の回りみまわの介助かいじよや支援しえんをしてくれる人ひとがいない
2. 一緒いっしょに暮らす人ひとがいない
3. 友人ゆうじん・知人ちじんがいない
4. 働はたらくところがない
5. 十分な収じゅうぶん入しゅうにゅうが得えられない
6. 趣味しゅみや生きがいいがみつけられない
7. 生活せいかつをするうえで必要な情報ひつようが得えられない
8. 自分じぶんの健康けんこうや体たい力りよくに自信じしんがない
9. 家族かぞくなど介助者かいじよしゃの健康状態けんこうじょうたいが不安ふあん
10. 一人ひとりでの外がい出しゅつが不安ふあん
11. 住すんでいるところ以外いがいに行き場いがない
12. 同居どうきよの家族かぞくとの関係かんけいが不安ふあん
13. 近所きんじよの人ひとなどとの関係かんけいが不安ふあん
14. 必要な保健ひつよう・福祉ほけん・医療いりようサービスうが受けられない
15. 将来的しょうらいてきに生活する住まいせいかつ、または施設しせつがあるかどうか不安ふあん
16. 特にとく困こまっていることはない
17. わからない
18. その他た ( )

とい <sup>なや</sup> <sup>こま</sup> <sup>そうだん</sup> <sup>おも</sup>  
 問11. あなたが悩みや困ったことを相談するのはどなた(どこ)ですか。(主なもの3つに○)

1. 家族・親戚 かぞく しんせき
2. 友人・知人 ゆうじん ちじん
3. 近所の人 きんじょ ひと
4. 学校や保育所・幼稚園など がっこう ほいくしよ ようちえん
5. 職場 しょくば
6. 病院 びやういん
7. 生活介護や就労継続支援B型などのサービスを受けているところ (施設や事業所など) せいかつかいご しゅうろうけいぞくしえん がた う しせつ じぎょうしよ
8. 障がいのある人やその家族の団体 しょうがい ひと かぞく だんたい
9. 市役所 しやくしよ
10. 社会福祉協議会 しゃかいふくしきょうぎかい
11. 筑紫保健福祉環境事務所 ちくしほけんふくしかんきょうじむしよ
12. 保健センター ほけん
13. 療育相談室 (きらきらルーム) りょういくそうだんしつ
14. 相談支援事業所 そうだんしえんじぎょうしよ
15. 地域活動支援センター (あす・ラック工房、つくしぴあ) ちいきかつどうしえん こうぼう
16. 障害者就業・生活支援センター ちくし しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつしえん
17. ホームヘルパー
18. 民生委員・児童委員 みんせいいいん じどういいん
19. 障がい者相談員 しょう しゃそうだんいん
20. 相談する人がいない、もしくは知らない そうだん ひと し
21. わからない
22. その他 ( た )

とい <sup>ひんど</sup> <sup>がいしゆつ</sup> <sup>つうきん</sup> <sup>つうがく</sup> <sup>つういん</sup> <sup>ふく</sup>  
 問12. あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通院などを含みます)

(1つだけ○)

- |                                      |                                      |                         |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------|
| 1. ほぼ毎日 <small>まいにち</small>          | 4. 月に1～2回程度 <small>つき かいていど</small>  | 7. その他 <small>た</small> |
| 2. 週に1～2回程度 <small>しゅう かいていど</small> | 5. 外出しない (できない) <small>がいしゆつ</small> | ( )                     |
| 3. 週に3～4回程度 <small>しゅう かいていど</small> | 6. わからない                             |                         |

とい 問13. <sup>がいしゆつ</sup>あなたが<sup>かんが</sup>外出することを<sup>じゆうじつ</sup>考えたとき、<sup>おも</sup>充実してほしいことはありますか。  
(主なもの3つに○)

1. <sup>しかくしょう</sup>視覚障がい者<sup>しやゆうどうよう</sup>誘導用<sup>てんじ</sup>ブロック (点字ブロック)
2. <sup>おと</sup>音の<sup>で</sup>出る<sup>しんごうき</sup>信号機
3. <sup>あんぜん</sup>ゆっくり安全に<sup>わた</sup>渡れる<sup>おうだんほど</sup>横断歩道
4. <sup>ほうちじてんしや</sup>放置自転車などの<sup>ろじょうしょうがいぶつ</sup>路上障害物が<sup>てつきよ</sup>撤去されること
5. <sup>ほど</sup>歩道・<sup>だてもの</sup>建物、<sup>もの</sup>乗り物などの<sup>だんさ</sup>段差が<sup>かいしょう</sup>解消されること
6. <sup>かいだん</sup>階段の<sup>て</sup>手すり
7. <sup>たもくてき</sup>多目的トイレ
8. <sup>しょう</sup>障がい者用の<sup>しやよう</sup>駐車<sup>ちゆうしや</sup>スペース
9. <sup>えき</sup>駅や<sup>てい</sup>バス停、<sup>ほど</sup>歩道における<sup>せっち</sup>ベンチなどの設置
10. <sup>でんしや</sup>電車や<sup>こうつうきかん</sup>バスなどの<sup>りよう</sup>交通機関を<sup>ひょうじ</sup>わかりやすく利用できる表示
11. <sup>りよう</sup>利用する<sup>しせつ</sup>施設などの<sup>あんないひょうじ</sup>わかりやすい案内表示
12. <sup>つ</sup>付き添いや<sup>かいじょしや</sup>介助者などの<sup>じんてきしえん</sup>人的支援
13. <sup>じぶん</sup>自分が<sup>こま</sup>困っているときの<sup>まわ</sup>周りの<sup>ひと</sup>人の<sup>えんじょ</sup>援助
14. <sup>とく</sup>特にない
15. わからない
16. <sup>た</sup>その他 ( )

とい 問14. <sup>かぞく</sup>あなたや<sup>きんじよ</sup>ご家族は、<sup>ひと</sup>近所の人とどれくらいのおつきあいをしていますか。  
<sup>じしん</sup>あなた自身と<sup>かぞく</sup>ご家族、それぞれについて、1つだけ○を<sup>きにゆう</sup>ご記入ください。

	<sup>じしん</sup> あなた自身	<sup>かぞく</sup> ご家族
1. <sup>した</sup> 親しくおつきあいしている <sup>たく</sup> お宅がある		
2. <sup>た</sup> たまに <sup>はなし</sup> 立ち話を <sup>ていど</sup> する程度		
3. <sup>あ</sup> 会えばあいさつするが、 <sup>いじょう</sup> それ以上の <sup>はなし</sup> 話はしない		
4. つきあいがほとんどない		
5. わからない		
6. <sup>た</sup> その他 ( )		

とい ちいき ひと ささ じっかん  
 問15. あなたは地域の人たちに支えられているという実感をもっていますか。(1つだけ○)

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 支えられていると思う           | 4. 支えられているとは思わない |
| 2. どちらかといえば支えられていると思う   | 5. わからない         |
| 3. どちらかといえば支えられていると思わない | 6. その他 ( )       |

とい にちじょうせいかつ さべつ へんけん そがいかん かん  
 問16. 日常生活において、差別や偏見、疎外感を感じる時がありますか。(1つだけ○)

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. よく感じる   | 3. ほとんど感じたことはない |
| 2. ときどき感じる | 4. まったく感じたことがない |
|            | 5. わからない        |
|            | 6. その他 ( )      |

とい とい かん かん かいとう ひと  
 問16-1. 問16. で「1. よく感じる」か「2. ときどき感じる」と回答した人にうかがいます。  
 どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |               |           |
|-------------------|---------------|-----------|
| 1. 街角での人の視線       | 6. 職場         | 11. 仕事や収入 |
| 2. 店などでの対応や態度     | 7. 教育の場       | 12. 人間関係  |
| 3. 市役所職員の対応や態度    | 8. スポーツ・趣味の活動 | 13. わからない |
| 4. 施設や病院の職員の対応や態度 | 9. 冠婚葬祭       | 14. その他   |
| 5. 地域の行事や集まり      | 10. 交通機関の利用   | ( )       |

きょういく  
教育について

とい 問17. あなたが学校や保育所・幼稚園などでの生活を送るうえで必要だったと思ったこと、もしくは、必要だと思っていることは、どのようなことですか。(主なもの3つに○)

1. 通園や通学手段に関する移動の支援
2. 学習サポート体制の充実
3. 学習・学校生活に必要な設備の充実
4. 園内・校内での介助の充実
5. 障がいのある子ども一人ひとりの特性に応じた配慮
6. 進路指導の充実
7. 福祉教育の充実
8. 障がいのない児童・生徒とのふれあいの機会
9. 教職員の障がいや障がいのある子どもに対する理解の徹底
10. 周りの児童・生徒やその保護者の理解の促進
11. 家族の同伴に対するサポート
12. 放課後の支援の充実
13. 特にない
14. わからない
15. その他 ( )

とい 問18. あなたが障がいや障がいのある人に対する市民の理解を深めるために必要だと思うことは、どのようなことですか。(主なもの3つに○)

1. 障がいや障がいのある人に関する広報・啓発の充実
2. 障がいのある人への理解と支援を行うボランティア活動の充実
3. 福祉施設の地域への開放による住民との交流の促進
4. 学校における福祉教育の充実
5. 障がいのある人やその家族による団体の活動の充実
6. 地域の行事や集まりに障がいのある人が参加しやすくする工夫
7. 障がいや障がいのある人に関する講演会や学習会の開催
8. 障がいのある人の積極的な社会への進出
9. 障がいのある人の地域活動やまちづくりへの参加
10. 特にない
11. わからない
12. その他 ( )



あんぜん あんしん  
安全・安心について

とい さいがい お お ひとり ひなんじよ ひなん  
問19. あなたは災害が起こったときや起こりそうなとき、一人で避難所へ避難することができますか。(1つだけ○)

1. 避難所の場所を知っていて一人で避難できる
2. 避難所の場所は知っているが一人では避難できない
3. 避難所の場所は知らないが、場所を確認して一人で避難できる
4. 避難所の場所は知らないし、一人では避難できない
5. わからない
6. その他 ( )

とい いえ あいだ さいがい ひなん ひつよう てだす ひと  
問20. あなたが家にいる間に、災害のため避難が必要になったとき、手助けをしてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. 手助けをしてくれる人はいない | 6. 隣組長      |
| 2. 家族や親族          | 7. 消防団員     |
| 3. 近所の人           | 8. ホームヘルパー  |
| 4. 民生委員・児童委員      | 9. わからない    |
| 5. 自治会の役員         | 10. その他 ( ) |

とい さいがい じ きゆうえん しょう かん じょうほう りょうしょう はんい し  
問21. 災害時の救援のために、あなたの障がいに関する情報を、あなたが了承する範囲で、市役所や自治会などに事前に伝えてもよいと思いますか。(1つだけ○)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 自分の情報は伝えてもよい   | 3. わからない   |
| 2. 自分の情報は伝えてほしくない | 4. その他 ( ) |

とい ほうもんはんばい つうしんはんばい しょうひしゃひがい  
問22. あなたは訪問販売や通信販売などでだまされて、消費者被害にあったことがありますか。また、被害にあうことが心配ですか。(1つだけ○)

1. 被害にあったことはないし、心配もしていない
2. 被害にあったことはないが、これからは心配だと思
3. 被害にあったことがあるが、これからは大丈夫だと思
4. 被害にあったことがあるし、これからも心配だと思
5. わからない
6. その他 ( )

## こよう 雇用について

とい げんざい しごと  
問23. 現在、あなたはどのような仕事をしていますか。(1つだけ○)

1. 現在、仕事はしていない
2. 会社などで正社員・正職員として働いている
3. パートタイムやアルバイトとして働いている
4. 就労移行支援もしくは就労継続支援A型/B型を利用して働いている
5. 地域活動支援センターのサービスを利用して働いている
6. 自営業をしている
7. 内職や自営業の手伝いをしている
8. わからない
9. その他 ( )

とい はたら ばあい はいりよ きぼう おも  
問24. あなたが働く場合、どのような配慮を希望しますか。(主なもの3つに○)

1. 仕事について相談する場所があること
2. 障がいのある人に対する求人情報の提供が充実していること
3. 職場内で介助や援助などが受けられること
4. 短期間の雇用ではなく、長く働くことができること
5. 仕事のやり方をきちんと教えてもらえること
6. 職場内で、障がいに対する理解があること
7. 障がいに合わせた働き方ができること(仕事の内容や勤務時間、休憩などの配慮)
8. 通勤や移動に対して、配慮や支援があること
9. 就労に向けた知識や技術などを身につける機会があること
10. 短期間のトライアル雇用(※1)が利用できること
11. ジョブコーチ(※2)による支援が受けられること
12. 施設や設備がバリアフリーであること
13. 障がいのある人が働くことができる職場が増えること
14. 賃金や給与が充実していること
15. 特にない
16. わからない
17. その他 ( )

※1: トライアル雇用とは・・・障がいのある人を短期間、試行的な形で受け入れ、本格的な雇用に取り組み始めるきっかけづくりをすすめる事業です。

※2: ジョブコーチとは・・・就労を希望する障がいのある人と一緒に職場へ行き、ともに作業をしたり、休憩時間を過ごしながらかんきょう、働きやすい環境づくりや援助を行う人のことです。

## 暮らしについて

問25. あなたは今後、どのように暮らしたいですか。(1つだけ○)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 一人で暮らしたい      | 4. 施設や病院で暮らしたい |
| 2. 自宅で家族と暮らしたい   | 5. わからない       |
| 3. グループホームで暮らしたい | 6. その他 ( )     |

問26. あなたが自宅など、地域で生活を営むことを考えたとき、どのような支援があればよいと思いますか。(主なもの3つに○)

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること | 9. 相談支援などの充実     |
| 2. 自宅以外に過ごす場所があること      | 10. 生活訓練などの充実    |
| 3. 障がいに対応した住居の確保        | 11. 就労に向けた支援     |
| 4. 経済的な負担の軽減            | 12. 近所や地域の人たちの理解 |
| 5. 意思疎通やコミュニケーションの支援    | 13. 支援を必要としない    |
| 6. 公共施設や交通機関などのバリアフリー化  | 14. わからない        |
| 7. 福祉のサービスが適切に利用できること   | 15. その他 ( )      |
| 8. グループホームが利用できること      |                  |

## 福祉・保健・医療について

問27. あなたは福祉に関するサービスなどについての情報をどこから入手していますか。(主なもの3つに○)

- |                      |                                |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 障がいのある人やその家族の団体   | 11. 社会福祉協議会                    |
| 2. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌     | 12. 地域活動支援センター (あず・ラック工房、つくしあ) |
| 3. 市の広報紙             | 13. 障害者就業・生活支援センター ちくし         |
| 4. 家族・親戚             | 14. 民生委員・児童委員                  |
| 5. 友人・知人             | 15. 障がい者相談員                    |
| 6. 学校や保育所・幼稚園など      | 16. ホームヘルパー                    |
| 7. 病院・診療所            | 17. インターネット                    |
| 8. 市役所               | 18. 特にない                       |
| 9. 保健師               | 19. わからない                      |
| 10. サービスを受けているところの職員 | 20. その他 ( )                    |

とい 問28. あなたは福祉のサービスを利用するときに何か困ったことがありましたか。(主なもの3つに○)

1. これまで福祉のサービスを利用したことがない
2. 使いたいサービスが使えなかった
3. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い
4. どのサービス事業者がよいのかわからない
5. 契約の方法がわからなかった(わかりにくかった)
6. サービスを利用するなかでトラブルがあった
7. 費用負担があるため、サービスが使いつらい
8. どんなサービスがあるのか知らない
9. サービス事業者の情報が不十分
10. 介護保険のサービスを優先するよういわれた
11. 特に困ったことはない
12. わからない
13. その他( )

とい 問29. あなたは日常生活自立支援事業(「ほのぼのサービス」など)(※3)について知っていますか。(1つだけ○)

※3: 日常生活自立支援事業とは・・・知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分ではない人が地域生活を営めるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理(ほのぼのサービス)などを行う事業です。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない
4. わからない
5. その他( )

とい 問30. あなたは今後、日常生活自立支援事業(「ほのぼのサービス」など)を利用したいと思いませんか。(1つだけ○)

1. すでに利用している
2. 将来、必要があれば利用したい
3. 利用したいとは思わない
4. わからない
5. その他( )

とい 問31. あなたには普段治療を受けたり、日常の健康について相談ができる「かかりつけの医師(病院・診療所)」がいますか(ありますか)。(1つだけ○)

1. いる
2. いない
3. わからない
4. その他( )

問32. あなたが保健や医療について困っていることは、どのようなことですか。(主なものを3つに○)

1. 市の保健師などから健康の相談や指導を受けにくい
2. 定期的な健康診断を受けにくい
3. 体調が悪くて通院できないことがある
4. 通院するときに手助けしてくれる人がいない
5. 専門的な治療を行う病院が身近にない
6. 専門的なりハビリができる施設が身近にない
7. 病気やけがのときに受け入れてくれる病院がない
8. 気軽に診てくれる医師がいない
9. 障がいがある理由で治療を受けにくい
10. 医療費や交通費の負担が大きい
11. 緊急時に受け入れてくれる医療機関が近くにない
12. 待ち時間が長い
13. 特に困っていない
14. わからない
15. その他 ( )

## 差別の解消や権利を守ることについて

平成28年4月から施行されている『障害者差別解消法』では、障がいのある人への「不当な差別的取扱い」が禁止されるとともに、障がいのある人に対し、「合理的配慮」を行うよう努めなければならない(努力義務)ものとされています。

(※合理的配慮は、行政機関・地方公共団体などは法的義務です)

- たとえば、「障がいがある」という理由だけで、アパートを貸してもらえないことや車いすだからといってお店に入れないことなどは、障がいのない人と違う扱いを受けているので、「不当な差別的取扱い」であると考えられます。
- たとえば、聴覚障がいのある人に声だけで話したり、知的障がいのある人にわかりやすく説明しないなどは、障がいのない人にはきちんと情報を伝えているのに、障がいのある人には情報を伝えていないこととなります。
- 障がいのある人が困っているときに、障がいのある人から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合には、負担になり過ぎない範囲で、できる限り対応していくことを「合理的配慮」といいます。



問35. あなたが考える(求める)「相手が負担になり過ぎない範囲で、できる限り対応していく配慮」には、どのようなものがありますか。イメージされているものがありましたら、ご自由にお書きください。


問36 あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない
6. その他 ( )

問37. あなたは成年後見制度(※4) について知っていますか。(1つだけ○)

※4：成年後見制度とは・・・知的障がい、精神障がい、認知症などにより、判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度です。具体的には、判断能力が不十分な人について契約などを代わりに行う代理人などを選任したり、本人が誤った判断に基づいて契約を締結した場合、それを取り消すことができるようにするなど、これらの人を不利益から守る制度です。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない
4. わからない
5. その他 ( )

問38. あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つだけ○)

1. すでに利用している
2. 将来、必要があれば利用したい
3. 利用したいとは思わない
4. わからない
5. その他 ( )

と  
 問39 あなたは市内の民間施設が高齢者や障がいのある人などに配慮されていると思いますか。

(1つだけ○)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない
6. その他 ( )

と  
 問40. あなたは周囲の人の「障がい」や「障がいのある人」に対する理解が深まってきたと  
 思いますか。(1つだけ○)

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 深まってきたと思う           | 4. 深まってきたとは思わない |
| 2. どちらかといえば深まってきたと思う   | 5. わからない        |
| 3. どちらかといえば深まってきたと思わない | 6. その他 ( )      |

あなたが太宰府市で暮らしやすくなるために、障がいのある人に対する施策や取り組みなどについてのご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。


きょうりよく  
**ご協力ありがとうございました。**